

科目名		建築設備			
担当教員		伊與部 聖奈		実務授業の有無	
対象学科		インテリアデザイン科	対象学年		1
必修・選択		必修	単位数		1
開講時期		後期			
時間数		16			
授業概要、目的、授業の進め方		<p>授業はプリントを使用し、分かりやすい言葉を用いたり図を描くなどして、イメージがしづらく取っ掛かりにくい設備分野の理解、知識習得を目的とする。また、練習問題を実施し、どのような出題形式で問われるかも合わせて確認する。後期では、どの試験でも中心的に問われる空気調和設備を軸とし、照明設備、昇降設備、消防設備、実務で役立つ設備図面・設備記号を学習。合わせて、近年重要視されている省エネ設計分野を学習する。</p> <p>2年次後期に目指す2級建築施工管理学科試験、そしてその後の2級建築士学科試験を見据えて、詳しく学習する。</p>			
学習目標 (到達目標)		2級建築施工管理学科試験、2級建築士試験合格レベルの知識定着を目標とする。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		世界で一番やさしい建築設備 (株) エクスナレッジ			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	照明設備			照明設備の種類や特徴、問われる部分を整理して理解し、その分野も問題を解くことが出来る。	
2	昇降設備			昇降設備の種類や特徴、問われる部分を整理して理解し、その分野も問題を解くことが出来る。	
3	空気調和設備			空気調和設備の種類や特徴、問われる部分を整理して理解し、その分野も問題を解くことが出来る。	
4	消防設備			消防設備の種類や特徴、問われる部分を整理して理解し、その分野も問題を解くことが出来る。	
5	設備図面・設備記号			設備図面・設備記号を理解し、重要事項を読み取ることが出来る。	
6	省エネ設計			省エネ設計における設備の種類や特徴、問われる部分を整理して理解し、その分野も問題を解くことが出来る。	
7	順次 小テストを実施する。 (2回以上実施予定)				
8					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
期末試験	小テスト	課題提出・内容		期末試験に加え、小テストを随時実施するのでその評価も加える。課題提出を課した場合は、提出の有無、提出期限の厳守、課題内容によって評価をする。期末試験はもちろん、日頃の学習を疎かにすることなく、授業に臨むこと。	
70 %	20 %	10 %	%	建築設備は快適な居住環境を整えるためになくってはならないもの。身の回りで使われているところを探し、イメージを持って学習しましょう。	
成績評価基準は					
A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		意匠設計実務4年			